

各 位

上場会社名	株式会社 シーマ
代表者	代表取締役社長 白石 幸栄
(コード番号)	7638)
問合せ先責任者	執行役員 管理統括 松橋 英一
(TEL)	03-3567-8098)

「平成25年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正」および 「特別損失の計上」に関するお知らせ

平成24年5月10日付当社「平成24年3月期 決算短信」にて公表しました平成25年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想(平成24年4月1日～平成24年9月30日)を下記のとおり修正いたしました。また、平成25年3月期第2四半期において特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,356	87	75	15	0.09
今回修正予想(B)	4,597	△267	△271	△301	△1.64
増減額(B-A)	△759	△354	△347	△317	
増減率(%)	△14.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	4,697	△201	△195	△135	△0.74

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

修正の理由

(1)売上高

当社の主力であるブライダルジュエリー販売においては、個人消費の低迷による顧客数の減少および商品単価の低価格化が進み、全体の売上高を減少させる要因となりました。

また、従来は有効であった結婚情報誌の媒体効果が低下したことにより、全体の集客数が著しく減少しました。低価格化、集客数の減少による売上減を防止するため、広告誌面の改善、販促方法の見直しを実施すると同時に提携先との連携も含めた各地域での催事など、集客の不足分を補うための施策を実施しましたが、想定した売上目標金額には届かず、当第2四半期連結累計期間の売上は、計画に対し、14.2%減と大幅に下回りました。

(2)営業利益、経常利益および四半期純利益

当社は、売上増のための施策を実施するとともに、経費削減の徹底、業務改善の推進に引き続き全社で取り組むと同時に、収益性が低下した店舗の運営を見直したことより経費の削減を達成いたしました。

しかしながら、前述のとおり、売上が伸び悩んだため利益を捻出することができませんでした。

これにより、営業利益、経常利益ともに計画を大幅に下回る結果となりました。また、四半期純利益についても特別損失を計上することにより計画を下回る結果となります。

なお、当社グループの主な事業であるブライダルジュエリー事業においては、クリスマス商戦を含む下半期で業績挽回を期待できることなどから、平成25年3月期 通期の連結業績予想および平成25年3月期の配当予想については修正しないこととしました。

(3)特別損失の計上について

当社は、収益性が低下した店舗の運営を見直すため、当社が保有する固定資産の一部について「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき固定資産の減損処理を実施し、減損損失63百万円、固定資産除却損2百万円の合計額65百万円を特別損失として計上します。

(注1)平成25年3月期 第2四半期決算短信は、平成24年11月9日(金)に発表する予定です。

(注2)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものです。実際の業績は、今後さまざまな要因によって、予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上